



以義中子校
芙蓉園信箋
書

9

73
4852



保
4852

芙蓉の園遊会
戦中守持法道書字
奥野繁雄方々法道書字
中込守持法道書字
自月法道書字

芙蓉の園遊会
松葉多

松葉多
大正四年六月九日寄
内田銀藏氏贈

某男不肖也... 政道... 将軍家補佐... 事... 修... 某... 中...

改事 衣類より改るるは僧堂より改るるに二字
着會と改るるに平ん坊と改るるに遠い秋朝と古
の凡より改るるに冠好と改るるに禮式と改るるに
其より改るるるに斗るるに僧堂より二字物
知るる人も守て能くん坊と改るるに別名と改るる
者をも斗り改るるに泉源と改るるに改るるに
志格と改るるに増中朝改事と改るるに津令格と改るる
るるに不念と改るるに信らと改るるに社尾と改るる
細田丹後と改るるにときと改るるに改るるに改るるに
と改るるにと改るるに改るるに改るるに改るるに
因事と改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
是と改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに

ゆゆと世の改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
服前の利用と改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
有徳院柳沖代と改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
常徳院柳 文照院柳 大下
花より改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
又と改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
且徳家凡儀と改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに
改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに改るるに

汲りぬ自然と凡汝とれしに於 教中目次
の海新法 後身新法 智堂と目く者くはり
と平先との物くを解意汲り来んこしとこ
てて未屬するとあるを仰候物と素とん坊遠
くはるもの水船の古法よい及り
東恩子くは神意よもあす付は物生を法
然るのまゝなるん年に入律し居物も水船高
價し交易しつらひる子に法大倫物なるの
のしらす時をわらぬも水船高上し病
う汲りぬ自然と凡汝とれしに於 教中目次
よ女との物と堂費しつらひ高人等とてい

妻汲りぬ自然と凡汝とれしに於 教中目次
ある年とせは法大倫物なるのしらす時
よはるもの水船の古法よい及り
東恩子くは神意よもあす付は物生を法
然るのまゝなるん年に入律し居物も水船高
價し交易しつらひる子に法大倫物なるの
のしらす時をわらぬも水船高上し病
う汲りぬ自然と凡汝とれしに於 教中目次
よ女との物と堂費しつらひ高人等とてい

あまのりは其終も不事とす事とる利
治さしよも得てことには不事とるに
事にはと不し物とせしれと下の治事
の成るものと遠く候候とすこと
ん事社よの所を以てゆえすの之職に
相交る事と事には平日多事多知
者か此とれ割さるれよと記下以
ま記ゆ定人と撰ゆしれ候ふと
右抱松と下と痛くあか松と温
撰りするに治用中の人を不事

しとくは自方の死となすし
のせり候はる治事と戦許に
以下は事人の死候に事人の死候に
直したる事と事とに治事と事と
對しゆ事人の死候に諸事と事と
多しゆ事人の死候に諸事と事と
以下は事人の死候に諸事と事と
治事と事とに治事と事と
事と事とに治事と事と
事と事とに治事と事と
事と事とに治事と事と

事と事とに治事と事と
事と事とに治事と事と
事と事とに治事と事と
事と事とに治事と事と

近來法皇院の僧侶は神皇正統記の道徳神皇
くまのりくくの中を志す稀なる有法皇如法に由り
る色に居るくお使の如く法皇の僧侶又く他法に
てまゝく如く早に之を又志法皇院の如く
志のし方の中を如く後く有りまゝく如く
中を設け守福院の中を如く如く神皇正統記
宗令の増進と僧侶と如く進んていさくく如く
如く又く如く如く如く如く如く如く如く如く
如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く

山に法皇院の僧侶は神皇正統記の道徳神皇
くまのりくくの中を志す稀なる有法皇如法に由り
る色に居るくお使の如く法皇の僧侶又く他法に
てまゝく如く早に之を又志法皇院の如く
志のし方の中を如く後く有りまゝく如く
中を設け守福院の中を如く如く神皇正統記
宗令の増進と僧侶と如く進んていさくく如く
如く又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く

申上月

右に法皇院の僧侶は神皇正統記の道徳神皇
くまのりくくの中を志す稀なる有法皇如法に由り
る色に居るくお使の如く法皇の僧侶又く他法に
てまゝく如く早に之を又志法皇院の如く
志のし方の中を如く後く有りまゝく如く
中を設け守福院の中を如く如く神皇正統記
宗令の増進と僧侶と如く進んていさくく如く
如く又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く如く
又く如く如く如く如く如く如く如く如く如く

天明九年

小幡

奥御醫所方治法後書有字

清江友并山郎不有之方治法後書有字

四月有松平越中守松平治法

酉
正月

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一有ははくは勝る向は政事しと西物
る留りあるは均た四勝の向出れと何と交し
別四政事之は四法と西交は出揚の向
四ふれと四政事之欠方は出離の離を
とのゆは政事四法由月日改は勝るを
しとありは事ん大畏の抑は出るれと
母は松又強智四後揚と中は後しと新改
連惡改は物ありは事んやと四政事之欠
四法之名をとらんと何と何と何と何と
多形くは四後揚はは事ん費はは松改

の事なる方日と品と事減しと名減し
は松改事なる書面と事ん何と事ん何と
後り連惡改新改自方と石具と補り
中松と名改は後事改は事ん
利部利部昂却と水は新中風法と害小
お改を自出急と明と出換は改は事ん
内と事ん小家と陰物と法と五は事ん事
五事改は必は利部改入中はこれ連改事
實は大と之と事ん之はは事ん書員と新
四法揚は四後揚は事ん中はは事ん改は外簡易

